



スタティック ルート

スタティック ルートのウィンドウを使用して、SIP プロキシ サーバで使用するスタティック ルートを設定します。ダイナミック ルートは、ルーティング プロトコルとルーティング更新メッセージに従って自動的に計算されるネットワーク経由のパスを表します。スタティック ルートは、明示的に設定するネットワーク経由の固定パスを表します。スタティック ルートは、ダイナミック ルートよりも優先されます。

スタティックルートの検索

ネットワークに複数のスタティックルートが存在する場合がありますため、Cisco Unified Presence Serverでは、具体的な検索条件に基づいて特定のスタティックルートを検索することができます。特定のスタティックルートを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアントマシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻る、あるいは、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence Server の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence Server]>[プロキシサーバ]>[スタティックルート]の順にクリックします。

[スタティックルートの検索と一覧表示 (Find and List Static Routes)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して機能の割り当てを検索します。

ステップ 2 [スタティックルートの検索と一覧表示 (Find and List Static Routes)] ウィンドウの最初のドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- 宛先パターン
- 説明
- ネクストホップ
- プライオリティ
- 重み付け

[スタティックルートの検索と一覧表示 (Find and List Static Routes)] ウィンドウの2番目のドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。



ヒント

データベースに登録されているすべてのスタティックルートを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたスタティックルートのリストが表示されます。

ステップ4 レコードのリストから、検索条件に一致するスタティック ルートをクリックします。

選択したスタティック ルートがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.9-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

スタティック ルートの設定

この項では、Cisco Unified Presence Server データベースで、スタティック ルートを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ1 次のいずれかのタスクを実行します。

- スタティック ルートを追加するには、[Unified Presence Server] > [プロキシサーバ] > [スタティックルート] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- サーバを更新する場合、P.9-2 の「[スタティック ルートの検索](#)」の手順に従ってサーバを検索します。

[スタティックルートの設定 (Static Route Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ2 [表 9-1](#) の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ3 データを保存してスタティック ルートをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします）。

追加情報

P.9-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

スタティック ルートの設定値

表 9-1 で、スタティック ルートの設定値について説明します。関連する手順については、P.9-5 の「関連項目」を参照してください。

表 9-1 スタティック ルートの設定値

フィールド	説明
宛先パターン	<p>このフィールドでは、着信番号のパターンを指定します。</p> <p>ドット (.) を任意の 1 文字を表すワイルドカードとして使用できません。アスタリスク (*) は任意の複数の文字列を表すワイルドカードとして使用できます。</p> <p>ダッシュまたはハイフン (-) もパターン内の任意の場所で使用できます。</p> <p>ワイルドカードの使用方法</p> <p>電話機の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ドットはパターン内の任意の場所に使用できます。 アスタリスクは末尾だけに使用できます。 <p>IP アドレスおよびホスト名の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> アスタリスクはホスト名の一部として使用できます。 ドットはホスト名のリテラル値の役割を果たします。 <p>エスケープ文字とアスタリスクの連続 (*) は、リテラル (*) と一致するもので、任意の場所で使用できます。</p>
説明	このパラメータは、特定のスタティック ルートの説明を指定します。
ネクストホップ	このパラメータは、着信先 (ネクスト ホップ) のドメイン名または IP アドレスを指定するもので、完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはドット付き IP アドレスとして指定できます。
ネクストホップポート (Next Hop Port)	<p>このパラメータは、着信先 (ネクスト ホップ) のポート番号を指定します。</p> <p>デフォルト : 5060</p>
ルートタイプ (Route Type)	このパラメータは、ルート タイプ (ユーザまたはドメイン) を指定します。
プロトコルタイプ (Protocol Type)	このパラメータは、このルートに対するプロトコル タイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。
プライオリティ	<p>このパラメータは、ルートのプライオリティ レベルを指定します。小さな値はプライオリティが高いことを示します。</p> <p>値の範囲 : 1 ~ 65535</p>
重み付け	<p>このパラメータは、ルートの重み付けを指定します。このパラメータは、複数のルートのプライオリティが同じ場合に限り使用します。大きな値は、ルートのプライオリティが高いことを示します。</p> <p>値の範囲 : 1 ~ 65535</p>

表 9-1 スタティック ルートの設定値 (続き)

フィールド	説明
固有性の低いルートを許可 (Allow Less-Specific Route)	このパラメータは、固有性の低いルートを許可することを示します。
インサービス (In Service)	このパラメータは、ルートをアウト オブ サービスにするかどうかを指定します。
	 (注) このパラメータを使用すると、管理者は効率的にルートをアウト オブ サービスにすることができます (完全に削除してから再度追加する必要がありません)。

スタティック ルートの削除

この項では、スタティック ルートの削除方法を説明します。

手順

- ステップ 1** P.9-2 の「[スタティック ルートの検索](#)」の手順に従いスタティック ルートを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するスタティック ルートを選択します。
- ステップ 3** スタティック ルートを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

スタティック ルートが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence Server により、そのスタティック ルートが削除されます。スタティック ルートが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.9-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [スタティック ルートの検索 \(P.9-2\)](#)
- [スタティック ルートの設定 \(P.9-3\)](#)
- [スタティック ルートの削除 \(P.9-5\)](#)

